



誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる別府小学校  
～全ての子どもに居場所がある学校づくり～  
～学校だより 巻頭言として～

令和7年11月28日(金)  
発行：摂津市立別府小学校  
校長 河平 浩一

## ～長かった2学期も、いよいよ残り1か月～

2学期も終盤を迎え、子どもたちが学びに向かう姿がより力強く感じられるようになりました。先日のフリー参観では、多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの頑張る姿や友達と学び合う場面を温かく見守ってくださいました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

6年生ではキャリア教育の一環として「社会人トーク」が行われ、地域で働く大人の方々から仕事への思いや生き方を伺う貴重な機会となりました。自ら考えた質問を通して“大人の本音”に触れた子どもたちの表情は真剣そのもので、これからの学びや将来を考える一歩につながったと感じています。



社会人トークの様子

本校では、こうした“本物の経験”を通して、子どもたちが「何のために学ぶのか」を考え、未来に向けて学習意欲を高められるような教育活動を大切にしていきたいと考えています。

学校教育自己診断(学校教育アンケート)へのご協力にも感謝申し上げます。今年度は、保護者の皆様のお声を丁寧に受け止めるため、学期に1回実施しています。途中結果では、「学校に行くのが楽しい」と答える子どもの割合が昨年度より高まっており、たいへん嬉しく感じています。これは、本校の教育目標にご理解いただき、日々の教育活動を支えてくださっている保護者の皆様のお力によるものです。一方で、学校生活を楽しみと感じられず、不安を抱えている子どもたちもいます。その子どもたちに寄り添い、一人ひとりが安心して過ごせる居場所をつくっていききたいと考えています。

また、学校という集団の中では、子ども同士のトラブルや意見のぶつかり合いも避けられません。だからこそ、子どもたちと一緒に話し合い考えさせることを大切にして、子どもたち自身が解決をしたり、未然に防ぐような関わりや、温かい人間関係をつくっていく力をつけていけるように学校として取り組んでいます。アンケートなどでいただいたご意見はすべて真摯に受け止め、子どもたちのより良い成長につながる学校づくりを、皆様とともに進めてまいります。

12月には個人懇談を実施します。本校では、保護者の皆様とのコミュニケーションをととても大切にしています。学校での学びの様子や友達との関わり、頑張っている姿、家庭での変化などを、互いに共有する貴重な時間です。子どもたちの育ちは、学校だけでも家庭だけでもなく、周りの大人が一緒になって見守ることで大きく伸びていくものです。短い時間ではありますが、お子様の姿について率直にお話し合い、今後につながるひとときにできればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2学期は学校生活の中で最も長い期間ですが、振り返ればあっという間に過ぎていきます。ひと時ひと時を大切にして、今後も、「誰もが楽しく幸せに6年間を過ごせる学校」に向けて、子どもたちの成長とともに喜び合える学校でありたいと考えています。

今後とも、地域の皆様・保護者の皆様とともに、「子どもが主役の学校づくり」を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。